



北海道大野記念

ヘリポート稼働へ訓練

救命率向上に期待

西区の北海道大野記念病院（齋藤孝次理事長、大野猛三院長・2476床）は、屋上ヘリポートの稼働に向けた訓練を実施した。

ドクターヘリの離着陸とストレッチャーの昇降や搬送手順などを確認。今後は要請があり次第、随時受け入れを行う。

手稲漢仁会の運航するドクターヘリや防災ヘリと連携し、救急・災害のニーズに対応。迅速な搬送による救命率向上と、地域医療の格差改善が期待される。

同病院は10月に西区宮の沢に新築移転。30年

間、西区西野で心臓血管治療設備を備え高度急センターとしての役割を担ってきたノウハウを生かして、地域貢献していく考えだ。

平成28年11月25日（金）

北海道医療新聞 4面